

# 在宅医療・介護多職種連携協議会 多職種連携・情報共有システム部会 ～報告～

## 部会の目的

在宅医療に係る多職種連携の推進及び情報共有システムの効果的な活用について検討する。(試行WG, 試行WG評価チームの発展形)

- 症例を通じた多職種連携ルールの検討
- 好事例を基にした情報共有システムの活用方法の検討

## 内容

<b>第2回部会</b> オンライン会議 (令和4年9月2日)	<ol style="list-style-type: none"><li>1 報告 ・個人情報保護研修会実施概要(案)について ※書面報告 ・現況届実施結果について ・令和4年度在宅医療・介護多職種連携協議会のテーマについて</li><li>2 議事 「ルールの種の抽出からルール素案作成まで」の作業工程の検証</li></ol>
---------------------------------------	--

## ■ 今年度のトピックス

- ・昨年度の実施結果を踏まえ、eラーニングを継続
- ・受講促進策として、合格証カード・優良事業所証の発行を継続するとともに、優良事業所は、新たにカシワニネット、柏市のホームページにて公表
- ・本研修に付随し、カシワニネットの効果的な活用に関するプラスワン動画を作成

## ■ 研修の概要

【研修形式】 研修システムを活用したeラーニング

【受講対象者】 カシワニネットを利用する全員

【実施時期】 11月初旬～下旬頃を予定 ※3週間程度を予定

【コンテンツ】 すき間時間で受講できるよう、動画コンテンツを細分化

## ■ 評価

一人でも多くの利用者に受講してもらい、研修を契機に適切な個人情報の取扱いを意識し、実践してもらうことにつながったかを確認する。

# 報告 2 | 現況届実施結果について

## ■ 内容

- ・ カシワニネット利用にあたり、個人情報 の 適正な取扱いの観点から利用状況の確認のために現況を届け出てもらうもの
- ・ 職員の異動等が多い年度初めに実施している

## ■ 回収状況及び現況確認に伴う I D 発行状況（※7/19現在）

	発送数	回収数	回収率	発送後 2 週間 の回収数	I D 新規発行 者	I D 削除者
令和 4 年度	460事業所	438事業所	<b>95.2%</b>	283事業所 <b>約 60 件増</b>	<b>138人</b>	156人
令和 3 年度	441事業所	422事業所	95.7%	225事業所	209人	162人
令和 2 年度	416事業所	394事業所	94.7%	—	132人	168人

- ・ 個人情報保護研修会でのルールの再確認等により I D の整理が進んだ
- ・ 昨年度末に現況届に関する再周知を行った
  - ➡現況届や個人情報の取扱いに対する意識が高まり、[早期の提出に繋げることが出来た](#)

## ■ 未提出事業所について

<具体策>

- ① 部会員へ未提出事業者リストを公開し、未提出事業者へ声掛けいただく
- ② それでも未提出の場合は、事前に通知文を発送した上で、部屋の閲覧を制限する予定

## ■ 2年間の具体的な作業工程を確認・共有する

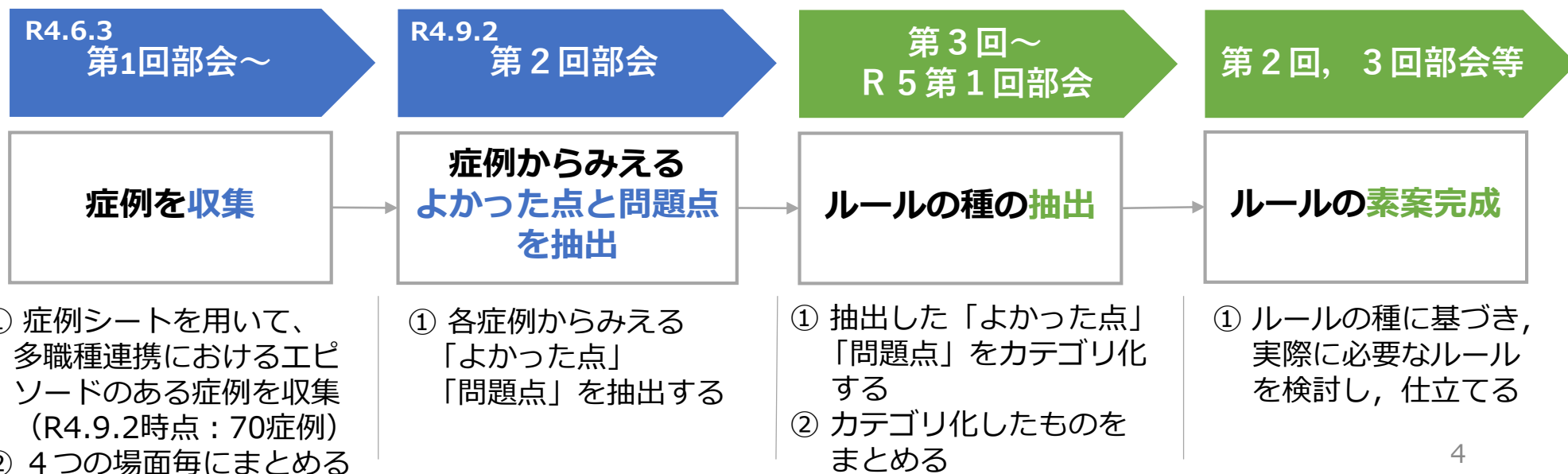
【最終目標】 柏モデルガイドブックにおける「多職種連携のルール」について、現状に則した内容に合わせて一部改訂することを目指す



【第1回部会】 「より円滑な多職種連携のため、新たなルールの種を見つける」ことを目的に、具体的な進め方や、ルールの背景となる症例を収集するための症例シートの内容を検討した



- ・意見を踏まえ作成した症例シートを用いて、各職能に依頼し症例を収集
- ・ルールの種の抽出からルールの素案完成までの2年間の作業工程を下記のとおり具現化



## ■ テーマ

実際の作業（工程）を行ってみて、今後のルールの種類抽出につながるかどうかの検討を行う

## ■ 目的

多職種の見点が確保できる = 部会員の皆様にて作業を行っていただくことを前提として、下記 2 点について検討する

- ① 「よかった点」「問題点」の抽出作業を経て、ルールの種類抽出につながりそうか
- ② 集まった多数の症例に対する抽出作業を、今後どのように行っていけばよいか

## ■ グループワークの内容

- 作業 1 症例からみえる「よかった点」「問題点」を具体的に抽出し整理する
- 検討 1 作業 1 の方法を経て、ルールの種類を抽出する作業につながられそうか
- 検討 2 現在収集中の多数の症例について、多職種で作業 1 を行っていくにはどうしたらよいか

## ■ グループワークの結果

### 検討1 作業の方法を経て、ルールの種類を抽出する作業につながられるか

- ・「よかった点」「問題点」を共有する中で、多職種の見点で意見を出すことができるのでルールの種類を見つけられるのではないか
- ・「問題点」のわかりやすい症例がルールの種類につながりやすいが、「よかった点」の多い症例からもルールの種類を抽出することはできると考える

### 検討2 現在収集中の多数の症例について、多職種で作業1を行っていくにはどうしたらよいか

- ・今後の作業に向けて、少人数で検討する場を設けてはどうか
- ・検討の人数は、4～5人程度がよいのではないか



### 検討結果の総括

- ・「よかった点」「問題点」の抽出は、多職種の視点で抽出することにより、ルールの種を見出すことができると考える
- ・ルールの種類抽出作業を本格化していくために、まず部会員でメンバー構成した少人数でのミニ会議を行う

## ■ ミニ会議について

少人数の部会員（コアメンバー）で、作業工程の検証と今後の進め方を検討する

<具体>

- ・ コアメンバーは、部会長、副部会長、及びICT部会員 2～3名程度で構成
- ・ 症例をベースに、ルールの種からルールの素案作成までの作業を行うとともに、今後の具体的な展開方法を検討する

第1回ミニ会議 10月4日（火） 19:00～ ZOOMにて

## ■ 個人情報保護研修会（11月上旬～下旬頃実施予定）

<研修内容> 実例に基づいた個人情報保護の基本について

<プラスワン動画> カシワニネットの効果的な活用について

## ■ 第3回部会（2月頃実施予定）

- ・ 三二会議の結果を報告・共有（予定）
- ・ 個人情報保護研修会の実施報告